

再読 Tove Ditlevsen
— Tove Ditlevsen の魅力とブームの背景 —

デンマーク語専攻 勝矢博子

目次

- 0. はじめに
- 1. 作家紹介
 - 1.1. 作家略歴
 - 1.2. 作品一覧
- 2. 作品鑑賞
 - 詩”Ægteskab”に見る Ditlevsen 詩の特徴
- 3. Tovfeber 考察
 - 3.1. Ditlevsen 評価の変遷と背景
 - 3.2. 第二次ブームの社会的背景①
70年代文学の再評価
 - 3.3. 第二次ブームの社会的背景②
オートフィクションと SNS
 - 3.4. 現代の作品受容の状況
- 4. 結論—Ditlevsen は再読に値する—
使用テキスト
参考文献
インターネット上の資料
資料（Ditlevsen 詩和訳）

要約

本論文は 2015 年頃より拡大した Tove Ditlevsen (1917-76) のリバイバルブームについて、Ditlevsen の再受容に至った要因と背景の考察を行ったものである。その際今日文学的に評価を受けている詩を一つ取り上げ、Ditlevsen の詩の特徴および美点を押さえたうえで、社会的・外的要因について述べた。また本文中で言及した詩、または今日とりわけ注目を集めている詩 7 編を和訳し資料として示した。なお本論文は以下 2 点において意義深いものである。まず生誕 100 年から 2 年が経過し、ブームが地に足の着いた人気に移行している今考察を行い、この度のブームを実際に体験した読者の一人としての見解をまとめて示している点である。2 点目は Ditlevsen の日本国内における知名度の向上に寄与し、今後のさらなる研究の参考に少しでもなり得る点である。Ditlevsen はデンマークでの知名度に比して日本における知名度が著しく低く、田辺ゼミの卒業論文においても本論文が初めて Ditlevsen を扱ったものとなっている。

第一章では Ditlevsen の略歴と主な作品について、当時の評価にも触れながら解説し、作品一覧も付した。第二章では Anne-Marie Mai による“Her er de 10 danske bedste digte”（デンマーク傑作詩 10 選）にも選出された、“Ægteskab”「結婚」を取り上げ和訳と分析を行い、構成と語彙に円環構造が見られることを示した。また Ditlevsen の生誕 100 周年記念詩集を編集し、Ditlevsen 紹介に大きく貢献した Olga Ravn やその他の批評家の発言も参考に、Ditlevsen の特徴と言われる日常的な語彙、赤裸々で率直な作風を詩に即して確認した。その際詩中で使用されるモチーフの身近さや、実人生を詩に反映している点、理想と現実の不一致についての葛藤を告白しありのままの自己を描写する点、追憶という個人的経験を公開する点、社会的・道徳的規範を顧みない点に上記の特徴を見出せることを確認した。

社会的に考察を進めた第三章では、まず今日までの Ditlevsen への評価の変遷をまとめ、執筆当時は女流作家と見なされ文学的に高い評価を受けるに至らなかった点、また 1970 年代後半から 80 年代の第一次リバイバルブームの際は、主に当時台頭した女性解放運

動に半ば利用される形となった点を押さえた。そのうえで今日の Tove ブームの背景として、70年代文学全体への再評価がなされていること、また Ditlevsen の特徴の一つである赤裸々さが許容され、歓迎すらされるようになった社会的風潮の変化を挙げた。前者については Mette Moestrup や Olga Ravn らによる、当時の文学作品が今日の人々の生活や考え方について再検討を促すものとして読まれているという指摘や、純文学と大衆文学を区別する意識が今日消失しつつあるという指摘をまとめて示した。後者については例としてオートフィクションの流行と SNS の普及について言及した。また SNS が今日のブームの火付け役となったことを踏まえ、Ditlevsen の SNS 上での取り上げられ方を示したうえで、Ditlevsen の作風が SNS にマッチする上に、Ditlevsen が SNS 上で共感と注目を集めやすい存在であることを述べた。さらに現代の作品受容の状況を Olga Ravn の意見を参考に考察し、Ditlevsen の作品が現代の読者、とりわけ家庭とキャリアの両立が求められる女性にとって共感されるだけでなく、肯定感すら得られるものであることを示した。

第四章ではこれまでに述べたことを振り返り、Ditlevsen には時代に沿う面とそれを超える面があると結論付けた。Ditlevsen 作品には時代を超えて評価され得る普遍的な文学性が存在するのである。また以上を踏まえ Ditlevsen を現代に紹介した Olga Ravn が、Ditlevsen の文学性に気付いたうえで、共感を重視する時代に Ditlevsen がその内容とスタイルから人々の共感と支持を集めることを、確かな洞察により予想していたと考えられた。また Ditlevsen は受容のされ方、拡散のされ方を変えながら、今後も読み継がれリバイバルブームが繰り返されるのではないかと予想される。今後も引き続きインスタグラム等の SNS を活用しつつ Ditlevsen ブームの行方を見守っていきたい。